企業・団体名（ 株式会社　パルム豊丘 ）

（様式第３号）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件２）

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働		【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	全従業員に相談時間を設け個別に談話を設ける。 （差別を中心に、労働負担にも気を配る）					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2			【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	日々の観察に気を配る。 教育体制の構築 （教育マニュアル作成とルール作り）					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3			【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	労働管理体制の構築、タイムカードの管理と調整 （過度にならないように、個別指導を行う）								8.5 8.8									
4			【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	現状外国人労働者はいませんが差別や侵害に対し教育をしています。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5			【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	衛生管理は、HACCP（食品衛生管理法）に取り組んでいる。事故のないように各自確認をしています。 （経営理念：安心・安全を心掛けています）			3					8									
6			【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	鬱の症状を抱えていた従業員がいます。（現在は回復しています。） 時間を取り、個別に談話を設けています。 （前の会社で症状が発生、現在は回復しています。）			3														
7			【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	女性中心に活躍できる環境を取り組んでいます。 （女性店長・店長代理を起用しています。）					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8			【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	スキルアップの教育・チェッカーマニュアル作成など行っています。 （OJTなども含み教育体制の構築をしています。）				4	5.5			8	9								
9			【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	同一労働同一賃金の原則を理解し対応している。 （社労士指導のもと、原則に沿って対応している。）					5.5			8.5		10.2 10.3							
10			【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	基本	年に一回、健康診断を行っております。 （役員・従業員・準社員：パートの含む）			3					8									
11	環境		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	廃棄しないよう値引や管理を実施中　売場提案として手前の商品から･･･と告知しています。											11.6	12.4		14.1			
12			【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	弊社では、冷却時に使われる冷媒は（HFC）を起用しています。また、店内の照明はすべてLED照明に変えています。（HFC【ハイドロフルカーボン】オゾン層を破壊しない）							7.3						13				
13			【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	計画として、節電を中心にエネルギーの無駄使いを無くす取り組みをしています。（室外機のコントロールしてくれる業者に商談中です。）							7.2 7.3					12.4	13.3				
14			【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	生鮮部門での包装ラップは、ポレオレフィンを起用しています。廃トレーなどは、回収業者などに委託しており、リサイクルをしています。			3.9			6.3					11.6	12.4					
15			【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	惣菜部門での、廃油は産業廃棄物として適切に対応している。						6.6									15		
16			【３Ｒの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	リサイクル可能な資源の有効活用と資源の無駄使いを減らす方針（村内の廃トレーの回収などに力を入れる。）												12.5		14.1			
17			【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	行き過ぎた節水は、衛生面にも影響するが節水を心掛けることも必要、使用状況の確認をする。						6.4 6.6											

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
18			【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	取得していない。			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19			【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	開示していない												12.6					
20			【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	太陽光などを使った発電機材は、弊社では扱っていませんバイオマスを利用した食品トレーなどは起用しつつあります							7.2						13				
21			【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	紙の使用を極力減らしていき、再利用可能ならば活用方法を模索していく												12.2	13	14	15		
22	公正な事業慣行		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	何人に対しても、直接･間接を問わず、賄賂の供与、申し出、約束をせず、また賄賂の受領もしないこと。　（弊社での法令遵守のルールを整備している。）																16 16.5	
23			【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	公正かつ自由な競争を整備しています。																16	
24			【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	知的財産権に関する特許･商標を理解し行動を整備している。								8.2 8.3	9								
25			【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	個人情報等(マイナンバー等)はクラウドなどで管理しています。																16	
26			【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	基本	紛争鉱物の取扱がありません。																16	
27			【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	仕入(調達･製造･管理･流通)販売→消費について整備しており、人権管理(従業員)に研修また面談など、生態系への悪影響にも防止策を施し確認管理を意識しております。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28	製品・サービス		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	生鮮部門(青果･鮮魚･精肉･惣菜)に関しては、HACCP(食品衛生管理)の基準を満たしており、安全性を確認しています。			3.9									12.4					
29			【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	ユーザーに満足いく価格と商品作りを徹底しています。 サービスに関しても、地元貢献に努めております。 （無料バスの運営･地元自治体への配達など）									9								
30			【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	商品開発はしていないが、地域の製造業者から地元の商品を優先的に販売している。						6						12	13	14	15		
31			【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	買い物困難者への配慮：現在無料の巡回バスを運行しています。　また、自足が困難なお客様に配達のサービスを考えております。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

		非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、 併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
32	社会貢献・地域貢献		【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	飯田･下伊那地域の製造業者(食料品)との連携をして多くのユーザー(村外･県外)に地域の商品を知ってもらおうと日々努めています。				4					9		11	12		14	15		17
33			【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	地元商工会に入会しています。現在支部の幹部として活動しています。(お祭り･行事事など)				4							11			14	15		17
34			【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	地元の市場から地物野菜などは、基本仕入れています。 また、精肉部では毎週、地物の豚肉を仕入れて売っています。 年に2～3回村内の和牛を仕入れて売っています								8	9		11	12	13				
35	組織体制		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	経営理念は、基本として全従業員と共有しています。 目標も、日々取り組みクリアーしてきてます。								8	9								17
36			【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	企業コンプライアンスとしてルールをしっかり理解し、教育体制として構築しています。(月2回会議方式で教育)																16	
37			【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	整備されている。(地域活動部署)外販部門、地域活動をしている。村内施設(学校給食･役場など)主に配達や奉仕活動です。																16	
38			【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	毎年アンケートや近隣利用者の統計などをしています。 アンケート内容を店舗改善方法として取り入れ運営･経営目標として日々努めています。																16	17
39			【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	経営リスクとして無料の巡回バスは経営としてはマイナス　しかし社会貢献として評価している。 リスクコントロールし損害を軽減して行く。																16	
40			【社会的責任】 ・ＣＳＲ（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	環境に対して、使用した食用油は、環境に適した処理業者に処理してもらい、段ボールや古紙は再生可能な資源は専門業者にお願いしています。																16	
41			【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	河川に近い店舗なので、水害に対して避難誘導などの訓練をしています。									9		11		13 13.1			16	
42			【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	若い経営者育成と事業の継承に対しても検討している。								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）

・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）